



# りんご生産情報（8月号）

令和3年8月19日  
弘前西地区営農係

## 1、りんごの肥大状況

管内の肥大状況は、平年より大きく推移しておりますが、天候などの影響から肥大の伸びは前回の調査よりも停滞しております。また、弱小芽などの小玉で肥大できないりんごも見受けられますので、随時見直し摘果を行いましょう。

単位：cm

	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
中崎（平場）	7.3	7.1	5.9	6.4
住吉（中間）	7.6	7.1	6.5	6.6
弥生（山手）	6.5	6.7	5.9	6.2
農協平均	7.3	7.0	6.4	6.3
平年値	7.1	6.9	6.3	6.1

## 2、早生種の着色管理

葉摘みの時期は、ストッポール散布5日後以降に、陽光面が着色し始めたら行いましょう。日焼け対策として、果実温度が上がってきた午前10時頃を目安に行い、密着した葉を摘み取る程度にしましょう。葉取らずつがるでは、こまめに支柱入れや玉回しを行いましょう。

## 3、早生種の収穫

りんごの着色程度を見ながらスグリもぎを行いましょう。スグリもぎを行うことで、残ったりんごに養分が集中し、着色しやすくなります。今年産は、酸度が低いため貯蔵力が低いと思われます。着色したものを随時収穫し、りんごの品質を維持しましよう。

黄色系品種のきおうは、カラーチャートを利用し、適期収穫に努めましよう。また、早期に着色しているきおうは、カチンコ（内部裂果）の可能性が高いため、落果による被害（オセ・生キズ）を防ぐため、見つけ次第摘果しましよう。

～りんご登録者の皆様へ～

サンつがる・葉取らずつがる・きおう  
山選果基準説明会の開催について

開催日 8月27日（金）  
時間 午前11時から  
場所 前坂・船沢りんごセンター

## 4、中生種の着色管理

9月に入り、果実陽光面の着色を確認してから葉摘みを始めましよう。早くからの葉摘みは日ヤケや低糖度・着色難・油上がりにつながります。高温が予想される場合は、タイベックなど熱の反射が少ない白い反射シートを選択しましよう。

当農協ではひろさきふじ・トキは、糖度を上げることによって「ゆめひかり」「メジャートキ」で販売され、精算時の配点も高くなります。高糖度で収穫するために、着果量を見直し、葉摘みの量・時期も考慮しながら作業を行いましょう。

## 5、薬剤散布

リンゴハダニ（赤ダニ）、ナミハダニの発生が平年よりも多く確認されております。

気温が高く続く場合には、再度ハダニが発生する可能性があります。薬剤散布前には、予察を行い発生しているダニに合わせた農薬を散布しましよう。

また、今年もりんごに葉が密着しているところや、薬剤のかからないところでは、すす点・すす斑病の発生が確認されております。すす点病の病斑は拭きとれないので見つけ次第摘果しましよう。

散布時期 反当散布量	対象 病虫害	薬剤名 及び混合順序	倍 数	1000ℓ 当り薬量	防除上の注意
13回目（9/2頃） 8月末 500ℓ/10a	黒星病・斑点落葉病・炭そ病 すす病 モシクイガ・ハダニ類	ダイパワー（水） サムコル（F）	1,000倍 5,000倍	1kg×1袋 200ml×1本	散布前にハダニの発生を確認しましよう！
特別散布（9/17頃） 9月半ば 500ℓ/10a	黒星病 すす病	オーソサイド（水）	800倍	1.25kg×1袋	

りんご栽培履歴の提出は、9月1日（水）までに支店窓口に提出してください。  
9月以降の散布は、散布が終了次第、特別散布報告書に記入の上、提出ください。

